

令和8年度までの目標	国語		算数・数学	
	自校A B層の割合	61.0%	自校A B層の割合	59.0%

目標達成に向けた取組			
3つの観点	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	- 授業開始時に必ず「本時の目標とめあて」を生徒に伝える。 - 授業終了時前に「本時の振り返り」を生徒に伝える。 - 授業の中で「探究活動」の場面を設ける。	- 漢字コンテスト、計算コンテスト、スペリングコンテスト等を全校で年に1回、各学年で年1回以上実施する。 - ドリルパークのベーシックドリルを1日1回行う。	- 学校だよりや学年通信で、学習方法を紹介する。 - ドリルパークコンテストを全校で実施する。
特に支援が必要な児童・生徒への手立て	- 自身の授業の振り返りを行い、生徒の支援方法を考える。 - 自己肯定感が高められるように、支援が必要な生徒にも答えられる問題づくりをする。	- コンテストの不合格者へのサポートとして、放課後補習事業者と連携して実施する。 - ミライシードドリルパークで、苦手なところの復習を実施する。	家庭と協力してドリルパークを実施し、メダルやポイントをためる取り組みを行う。
成果指標	全国学力調査「先生は、あなたの良いところ認めてくれていると思いますか」あてはまるの解答割合 80%以上	ドリルパーク（5教科のベーシックドリル）を終わらせる。 90%以上	全国学力調査「授業時間以外の勉強時間」1時間以上の回答割合 90%以上